

〔大城勇太議員 登壇〕

○6番 大城勇太君 皆さん、おはようございます。そして傍聴席、ネット中継を通してごらんになられている町民の皆様、おはようございます。6番 大城勇太でございます。きょうから一般質問が始まりますが、まず初めに、執行部の皆様、コロナ対策においてご多忙の中、我々議員の要望に応じていただき、心より感謝を申し上げます。3月2日から町内小中学校において臨時休校になり、児童生徒や先生方だけではなく、保護者や学童など、さまざまな方面で混乱が生じていましたが、幸いにも沖縄県南風原町においては、町の迅速な対応により感染がなく、小中学校の臨時休校が2週間程度で解除されました。しかし、新たな感染者も出たことにより、一層気を引き締めていかなければいけないものだと思っております。今回、観光業などにおいては、まだ今も大打撃を与えている中、レンタカー会社も倒産に追い込まれる状況ですので、今こそ国は、平成21年に行われたモラトリアム法、そういった政策の実行もしながら、無担保、無利子、低金利で貸し付けを行い、経済政策を行って、日本の国民の生活を守っていく、これこそが最優先にすべき問題だと思っております。それでは、通告書に従い一般質問をさせていただきます。一問一答でよろしくお願いします。

大問1. SDGsの目標12（つくる責任つかう責任）の取り組みについて。（1）リサイクルについて、本町はどのような取り組みを行っているか。（2）はえばるエコセンターが行っているリユースについては、本町の見解を伺う。（3）世界で注目されているプラスチック問題について、本町はどのような取り組みを行っているか。（4）食品ロスについての本町の見解を伺います。よろしくお願いします。

○議長 知念富信君 副町長。

○副町長 国吉真章君 質問事項1点目のSDGsの目標12（つくる責任つかう責任）の取り組みについての（1）についてお答えします。リサイクルについては、収集業者や役場担当職員による適切な分別の案内を行っています。また、はえばるエコセンターで古紙や古着を使ったリメイク作品づくり、資源ごみ分別施設やペットボトル再生処理工場の見学、フリーマーケットなどを通し、環境に関する情報発信施設として、リサイクルに関する意識の醸成を行っています。

（2）についてお答えします。フリーマーケットの開催、年間を通して行っている幼・小・中学校の学用品や制服のリユースなど、不要になったがまだ使えるものを、必要としている人へ渡す役割を担う事業であると認識しております。

（3）についてお答えします。南風原町一般廃棄物処理基本計画により、家庭から排出されるペットボトルは、資源化物として週1回、回収しております。その他のプラスチック、弁当がら、白色トレイ、洗剤などのプラスチック容器は、燃やすごみとして処理しております。那覇市・南風原町環境施設組合では、燃やさないごみ・粗大ごみとして収集された小型

家電や自転車などは、金属とプラスチックに分解し、プラスチックは焼却し、金属は売却しております。

(4) についてお答えします。食品ロスとは、本来は食べられる状態であるにもかかわらず食品が廃棄されることで、具体的には賞味期限・消費期限内の食品や未開封の食品が廃棄されることを意味します。本町では、廃棄物減量の目的で「はえばるリサイクルループ事業」を実施しており、家庭や給食センター、飲食店等から排出された食品残渣、いわゆる食べ残しや調理くずを、はえばる豚の飼料として再利用しております。以上です。

○議長 知念富信君 6番 大城勇太議員。

○6番 大城勇太君 ご答弁ありがとうございます。(1) より再質問をさせていただきます。全国の市町村のごみ分別状況を見ていると、徳島県上勝町で、2020年までにごみゼロ、ゼロ・ウェイスト宣言をし、現在では分別が55種類、ごみの資源化率は85%で、ほとんどのごみをリサイクルしているそうです。本町のごみの分別の種類、リサイクル率などがわかりましたら教えてください。

○議長 知念富信君 住民環境課長。

○住民環境課長 宮城広子さん お答えします。分別としては、資源ごみ、アルミ缶、スチール缶、そして燃やさないごみ、燃やすごみ、資源ごみはアルミ、スチールもありますけれども、瓶、ペットボトル、そして草木、古布とか古紙、それと廃油、一部の地域によっては生ごみ、食品残渣をリサイクルとして豚の餌とか飼料にしております。資源化としては、平成29年度では21.8%となっております。

○議長 知念富信君 6番 大城勇太議員。

○6番 大城勇太君 リサイクル率は、沖縄県では豊見城、座間味に次いで、本町は3位の二十二、三%です。しかし、全国で見ると、沖縄県は40位の15%しかなく、数年前ですが、OECD35加盟国の中では下から5番目。リサイクルに対しての意識がまだまだ少ないように思います。この上勝町においても、瓶の色まで識別して分別する。燃やすごみにおいては、リサイクルできるプラスチックごみ、そして衣類等もリサイクルをして、糸からまた新しい洋服をつくるようなことをしているそうで、まだまだ本町でも取り組めるものがあるかと思いますが、今後、リサイクルに取り組む予定のものなどがあれば教えてください。

○議長 知念富信君 住民環境課長。

○住民環境課長 宮城広子さん 現行の分別も、県内ではかなり細かくなっているほうだ

と思います。ただ、意識が低下しては困りますので、町民の皆様と事業所の方々と協力しながら、理解を求めながら、さらに分別を進めていきたいと思っています。

○議長 知念富信君 6番 大城勇太議員。

○6番 大城勇太君 ありがとうございます。SDGsの持続可能な開発目標にも、本町も積極的に取り組むべき課題だと思いますので、是非ご検討のほどお願いします。

続いて(2)はえばるエコセンターが行っているリユースについての再質問ですが、昨年のはえばるエコセンターでの制服のリユース、数量などがわかれば教えていただけますか。

○議長 知念富信君 住民環境課長。

○住民環境課長 宮城広子さん お答えします。昨年は、制服が、幼稚園が38、中学校が199、高校が104ということで、合計341件となっております。

○議長 知念富信君 6番 大城勇太議員。

○6番 大城勇太君 ありがとうございます。もう一つ質問ですが、この制服、南風原中学校、南星中学校の、高いものは冬の制服だと思いますが、制服の金額がわかればお願いします。

○議長 知念富信君 学校教育課長。

○学校教育課長 宮良泰子さん 答えいたします。南星中学校の冬服についてお答えいたします。南星中学校、男子生徒の制服が上下合わせて2万8,230円となっております。女子生徒の制服につきましては1万9,940円ということで確認をとっております。以上となります。

○議長 知念富信君 6番 大城勇太議員。

○6番 大城勇太君 ありがとうございます。中学生においては、この3年間で4回から5回変えたという話もお聞きしました。やはり3万円ぐらいしますので、4回ともなると大分家庭への負担が大きいものかと思いますが、そんなとき、やはりエコセンターのリユースはとても大事になってくるかと思っています。エコセンターでお聞きしたところ、現在、12月時点で中学校の制服の予約数が85点、幼稚園の制服の予約が81点、学用品も含めて約200人近い人が予約をしている状況らしいです。それでもまだ洋服が来ないということです。

ので、予約待ちの方にも、できれば制服、式服、学用品が行き渡るように、本町としてももっとホームページや広報等で呼びかけができるか、よろしくお願いします。

○議長 知念富信君 住民環境課長。

○住民環境課長 宮城広子さん おっしゃるとおり、予約の件はこちらも把握していない部分でありました。ただ、広報紙とホームページには不定期で載せておりましたけれども、やはり必要とされている方がいらっしゃると思いますので、ホームページや広報紙にもさらに載せて、町民の方にご協力をお願いしたいと思います。

○議長 知念富信君 6番 大城勇太議員。

○6番 大城勇太君 ありがとうございます。2月の新聞に八重山高校が行っている制服リレーの特集がありました。3月に卒業する3年生やたんすに制服をしまったままになっている卒業生に、制服の提供を呼びかけているそうです。卒業後の制服についてのアンケート調査では、15%が捨てる予定、41%がたんすにしまう予定と回答し、制服リレーについては65%が参加するという意向を示したそうです。やはり、たんすにしまう多くの生徒の理由についてですが、本町からもありましたが、卒業生からも、名前の刺しゅうがあるからなかなか持って行きづらい、そういう声も数多く聞きました。やはり制服に入れている名前の刺しゅうで、本土では、何々さんだよねと、親の知り合いをよそおった男性に誘拐されそうになった事件も起こっている中、全国でも制服の名前の刺しゅうは廃止しているところが結構あるそうで、現在では名前のプレートだったり、名前の名札をつけて、学校から帰るときは名札を裏返して、その上からジャージまで着て帰らないといけないという学校もあるそうですので、本町においても、名前の刺しゅうを廃止して、名札などにしたほうがいいのではないかという声がないかお聞きします。

○議長 知念富信君 学校教育課長。

○学校教育課長 宮良泰子さん お答えいたします。現状、教育委員会に直接、刺しゅうとりやめのご意見はございません。名前については、落し物だったり、そういうものを防ぐためにふだんから記入したりしているものです。ただ、名前について刺しゅうにするのか、名札にするのかについては、改めて、校長会とかその辺を通して、意見等を確認してまいりたいと思います。

○議長 知念富信君 6番 大城勇太議員。

○6番 大城勇太君 ありがとうございます。また、希望制ということも可能なのか検討し

ていただいて、実際にまた検討をする間に、リユースとして持って行きたい方、名札、名前の刺しゅうを外して、名前の刺しゅうを入れるまでに約 1,100 円かかるとお聞きしていますので、そういったものを町として支援できないか、お聞きしたいと思います。

○議長 知念富信君 教育部長。

○教育部長 金城郡浩君 現在のところ、その辺については考えておりません。その辺については少し難しいと考えております。

○議長 知念富信君 6 番 大城勇太議員。

○6 番 大城勇太君 できれば町が、刺しゅうなど、責任を持ってやっていただければ、もっと持ってくる方もふえるかと思しますので、検討をしていただけたらと思っています。中学校 1 年生の 1 学期で、スカートが短いから指導を受けた生徒がいるらしいのですが、実際短くしたのではなくて、成長が早かったために指導されてしまったという話を聞きました。やはり現実にはそのようなことがあるぐらい、中学校の成長も早いのかなと思っています。ですので、親の負担、家庭の負担、個人情報で身の危険が及ばないように、本町としても対策をしていただけたらと思いますので、是非よろしくをお願いします。

続いて（3）について質問します。世界でも注目しているプラスチック問題ですが、本町はペットボトル以外、ほとんどが焼却とお聞きしました。名護市ではプラスチックは燃やすごみとしてではなく、リサイクルのために、プラスチックを週に一度分別して回収しています。主なものとして、カップ、パック類など、弁当などのトレイ、フィルム、ネット、そしてケチャップなどのチューブ類、プラスチック類などは全て、名護のほうではリサイクルされているとお聞きしています。実際、南風原町でもプラスチックはリサイクルできるのかなと思っていますが、いかがでしょうか。

○議長 知念富信君 住民環境課長。

○住民環境課長 宮城広子さん お答えします。リサイクルできるものについては、適切にリサイクルしております。

○議長 知念富信君 6 番 大城勇太議員。

○6 番 大城勇太君 ありがとうございます。名護も結構細かく分別しているので、カップ麺にしても、上のふたと下のものは別々のものになったり、ケチャップやマヨネーズのふたとチューブも別になったりという分け方をしていましたので、個人個人の負担はあるかと思いますが、今後もプラスチック問題ですので、是非取り組んでいけたらと思っています。

また今回、新聞のほうで要望がありましたので、実際、新聞回収についてですが、ワークブラザ南風さんが回収した新聞の中にも、分別が間に合わなかったのか、業者に持ち込んだ際、結構な量のプラスチック類だったり、中にはＣＤ、雑誌、アルバム、ＣＤのケース、そういうものが入っているということをお聞きしました。現在では大分少なくなっているようですが、そもそも出す側がしっかり分別していれば、南風さんも手間が省けるのかなと思っています。この新聞を縛っているビニールひももプラスチックになりますので、そういった面も、本町のごみの出し方、分け方の中に、新聞、そして段ボールなどは、できるだけ紙ひもを使いましょうと書いているのですが、やはりほかの市町村を見ると必ず紙ひもを使いましょうと書いているので、こういった面も分別して、また南風さんでも、このひもは全部取り除いて、またごみとして捨てなければいけないとやっているそうなので、こういう面でも、必ず紙ひもにという表記にはできないのか、お聞きしたいと思います。

○議長 知念富信君 暫時休憩します。

休憩（午前 10 時 46 分）

再開（午前 10 時 47 分）

○議長 知念富信君 再開します。住民環境課長。

○住民環境課長 宮城広子さん 先ほどのご質問ですけれども、こちら南風のほうに確認したところ、そういったことはないということでした。ひもについては、やはり紙ひもというのは、出す方たちの負担がありますので、購入がなかなか難しい部分です。ビニールひもでくびっていただいているのは、ばらした後に、きちんと燃やすごみとして分別しておりますので、決してマイクロプラスチックになるという警戒はありませんので、できるだけ紙ひもでお願いしたいのですが、できない場合は今までどおりビニールひもでお願いしたいと思います。

○議長 知念富信君 6 番 大城勇太議員。

○6 番 大城勇太君 業者さんからの話があったので、新聞の中に、ごみ袋 2 つ分ぐらいの新聞以外のものが入っているということをお聞きしていただきましたので、これも含めて、本町のごみの出し方のあり方、雨の日には、新聞をビニールに入れてしばって出す方もいるそうなので、雨の日にはまず出さないということも、他市町村ではやっていますので、是非またこれも検討していただけたらと思いますので、よろしくお願いします。

続いて（４）食品ロスについての再質問をさせていただきます。食品ロスは、先ほどの答弁でもあったように、文字どおりまだ食べられるのに、食べることなく廃棄されてしまう食

品のことです。日本の食品ロスは年間約 650 万トン。この量は、世界で行われている食品援助量の約 320 万トンの 2 倍を上回るそうです。世界には飢餓で苦しみ命を落とす人がいる一方で、日本では食料が余りに多く廃棄されているという現状にあります。その原因として、食品ロスの半分は家庭から出ているという調査があります。家庭から出されるごみの中には、手つかずの食品が 2 割もあり、そのうち 4 分の 1 は賞味期限前にもかかわらず捨てられているのだそうです。那覇市・南風原町環境施設組合においても、去年のごみの量が 10 万 3,165 トン、そのうちの厨芥類、生ごみが 11.5%、そのうち水分が 42%あるそうです。ですから、年間のごみの 4 万トンが水分、そういうことになります。家庭からの 45%は生ごみになるそうです。このような状況を解決すべく、海外ではさまざまな取り組みが行われています。食品ロス問題で、先進的な取り組みを行っているヨーロッパを例に挙げると、スペインでは貧困者への食糧援助として、食品ロス削減を目的に、シェアリングエコノミーに近い、日本語で言う連帯冷蔵庫というものが各地に設置されているそうです。この連帯冷蔵庫というのは、冷蔵庫に入れられている賞味期限間近なものを、各地方自治体やスーパー、そしてそこら辺に置いて、必要な人がそれをもらっていく、また入れた人も必要なものがあれば交換できるという仕組みを行っているそうです。現在、本町の社協ではどのような食品を受け入れているかお聞きします。

○議長 知念富信君 住民環境課長。

○住民環境課長 宮城広子さん 社協では、賞味期限前の保存できる食品を、善意の方から集めています。

○議長 知念富信君 6 番 大城勇太議員。

○6 番 大城勇太君 いわゆる乾物みたいなものだと思うのですが、そういったものだけではなくて、こういう連帯冷蔵庫みたいなものを、本町に設置できる場所があれば設置して、さまざまな食品を受け入れることができれば、もっと多くの食品ロスを減らせるのではないかと考えています。そして、フードバンクや社協と連携をして、みゆき議員の質問にもあるフードドライブも、もっと強化することができるのではないかと思います。貧困世帯や子ども食堂、福祉施設への支援も、この連帯冷蔵庫、いわゆる冷蔵庫を置いて、みんなが共同で使っていけるものをやっていければ、おもしろい取り組みだと思いますが、本町では取り組んでいただけないですか。

○議長 知念富信君 住民環境課長。

○住民環境課長 宮城広子さん 食品ロス対策の件で、連帯冷蔵庫の件ですけれども、現在、

感染症、新型コロナの件もありますので、安全面から考えていくと、なかなか厳しいものだと考えております。

○議長 知念富信君 6番 大城勇太議員。

○6番 大城勇太君 コロナウイルスが終息すれば大丈夫だということによろしいですか。

○議長 知念富信君 住民環境課長。

○住民環境課長 宮城広子さん ちょっと説明不足で。感染症だけではなくて、衛生面とかいろいろな問題が絡んできますので、やはり利用される方の健康面とか安全面を考えると、なかなか難しい部分かなと思います。

○議長 知念富信君 6番 大城勇太議員。

○6番 大城勇太君 海外では、いろいろなもので取り組んでいますので、難しいということではなくて、どうやったらできるのかというものを考えて、是非取り組んでいけたらと思っています。また、一日橋にあるフードバンク、そういった方々の話を聞いて、どういうものが取り入れられているのか、そしてどういうものに取り組めるのかというものにも、本町が取り組んでいけたらと思っています。フランスでは、食料品等を廃棄することを禁止する「食品廃棄禁止法」が制定されました。それによって、各家庭では鶏を飼って、生ごみをその鶏に飼料として活用するプロジェクトや、オーストラリアでは、野菜だけでなくさまざまな食品が集まる無料スーパーなどが話題になっているそうです。そういった小さな行動の積み重ねが、食品ロス問題の解決へとつながっていくものだと思いますので、是非前向きなご検討のほどよろしくお願いします。

続いて大問2. 本町小中学校の環境整備を。(1) 本町の小中学校の運動場の砂について、周辺住民からの苦情はあるか。(2) また、運動場の球技での周辺の苦情はあるか。(3) 体育館照明はLEDにできないか。よろしくお願いします。

○議長 知念富信君 教育長。

○教育長 新垣吉紀君 質問事項2点目の本町小中学校の環境整備についてお答えいたします。まず(1)でございますが、雨が少なく、強風時には砂ぼこりの飛散に対しての苦情がございます。

(2) です。周辺住民から運動場での球技で騒音や飛球に対する苦情がございます。

(3) です。南風原中学校につきましては、平成27年にLED照明の整備を終えました。



その他の体育館についても、照明機器の改修時期に、LED化を進めてまいりたいと考えております。

○議長 知念富信君 6番 大城勇太議員。

○6番 大城勇太君 ご答弁ありがとうございます。津嘉山小学校周辺の住民の方々にお話をお聞きして、小学校の砂でクーラーの室外機が故障する、洗濯物が外に干せない、縁側にざらざらと砂が指につくぐらいたまる、そしてひどいときは窓もあけられないという話をお聞きしました。仕方がないことだから苦情は出せないとおっしゃっていましたが、今まで、アンケートなどを行ったことがあるかお聞きします。

○議長 知念富信君 学校教育課長。

○学校教育課長 宮良泰子さん お答えいたします。今までに住民の方向けにアンケート等を行ったことはございません。

○議長 知念富信君 6番 大城勇太議員。

○6番 大城勇太君 今回、私も津嘉山小学校周辺の方々にお話を聞いたのですが、本町は6校ありますので、ほかにも苦情がないのかお聞きします。

○議長 知念富信君 学校教育課長。

○学校教育課長 宮良泰子さん ほかの学校からも苦情があるということは聞いております。

○議長 知念富信君 6番 大城勇太議員。

○6番 大城勇太君 これについて、各学校はどのような対策をとっているのか。そしてまた、スプリンクラーとか防砂ネット、そういう対策は検討できないでしょうか。

○議長 知念富信君 学校教育課長。

○学校教育課長 宮良泰子さん お答えいたします。現状、学校のほうでは、主に水まき等で対策を行っている状況でございます。現在は防砂ネット等の対策は行っておりませんので、この辺もまた利用者や学校と話し合っまいりたいと思います。スプリンクラーについても、現状ございませんので、こちらについても、可能かどうかという手法も含めて、検討

してまいりたいと思います。

○議長 知念富信君 6番 大城勇太議員。

○6番 大城勇太君 ありがとうございます。水まきも、多分一日1回やるかやらないかぐらいのものだと思いますので、各部活動においても、部活動をする前にやるとか、そういう対策等も必要だと思いますので、これもまた是非検討して、また周辺住民のアンケート等を是非行っていただけたらと思っておりますので、よろしくお願いします。

(2)ですが、これも津嘉山小学校のことになりますが、実は、小学校の運動場の南側の住民の方、2軒ありますが、そちらのお二方が来て、ボールがしょっちゅう落ちてきて困っているとありました。野球クラブが、謝罪とボールの回収に行ったら、段ボールいっぱいボールがあったということがありましたので、その点について、本町に何かお話などがあったかお聞きしたいと思います。

○議長 知念富信君 教育総務課長。

○教育総務課長 比嘉純子さん お答えします。津嘉山小学校のボールの飛球については、直接苦情は受けておりません。ですが、令和元年11月に、防球ネットのたるみがあったので、その修繕はしておりますので、それ以降、飛球はないと考えております。

○議長 知念富信君 6番 大城勇太議員。

○6番 大城勇太君 私が小学校のネットを確認したら、目視なのですが、現在で何点か穴があいている場所も見受けられましたので、グラウンドのネットは小学校で補修するのか、それとも各スポーツチームが補修するのか、またこれは町にお願いできるのか。そういった面もお聞かせ願えますか。

○議長 知念富信君 教育総務課長。

○教育総務課長 比嘉純子さん 現在、穴があいているかというところで見に行きました。大きな箇所はなかったと確認しております。小さな修繕に関しましては、話し合いで、野球クラブチームが、自分たちで直すよと言ってくれるのであれば、一緒に見ながら直していただけますし、大きな修繕であれば私たちのほうで修繕させていただいております。

○議長 知念富信君 6番 大城勇太議員。

○6番 大城勇太君 ありがとうございます。少年野球チームだけではなく、一般の方々にもお貸ししているのも、実際、野球のホームベースの位置というのか、ホームランを打ったらもしかしたらそれを越えてしまう可能性もある。大人がやればそういった可能性も出てくると思うので、それは野球クラブの少年野球だけではなくて、一般の方々にも注意していただいて、お話をしていただけたらと思いますので、よろしくお願いします。

(3)の小学校の体育館のLEDですが、現在、津嘉山小学校の体育館は電球の交換が必要だとお聞きしましたが、実際にどれぐらい消えているのか。よろしくお願いします。

○議長 知念富信君 教育総務課長。

○教育総務課長 比嘉純子さん お答えします。勇太議員から提案があったときには30個の電球があり、30個中11個の照明が切れているということでした。しかし、そのときにはもう修繕の依頼を委託しておりましたので、実際には全部修繕しております。

○議長 知念富信君 6番 大城勇太議員。

○6番 大城勇太君 修繕ではなくて、できればLEDにしてほしかったのですが、実際、私も見に行ったときには30個のうち10個も11個もふえて、3分の1が消えている。前回修繕したのは、多分1年たっていないと思います。1年もたたないのに10個も切れる状態であれば、是非この南風原、そして糸満も小学校ではLED化になっていますので、LED化にしていったほうがいいのかと思います。交換の順番的に、修繕する前にLED化にしてほしかったという要望をしたかったのですが、そういった面で再度お願いします。

○議長 知念富信君 教育部長。

○教育部長 金城郡浩君 現在使っている体育館の電気のほうが、LED対応になっていないということもあって、LED化をやっていないわけですが、LED化については、光の光量の問題であるとか、照度の問題で、そのままLEDにつけかえればいいのかという形ではないとお伺いしています。我々としても、次の質問にも出てくるのですが、適宜計画的にLED化に向けては進めていきたいと考えています。

○議長 知念富信君 6番 大城勇太議員。

○6番 大城勇太君 できれば、LEDの方向で検討していただけたらと思っています。一般的に、体育館にあるのが高圧水銀灯と呼ぶのだそうですが、ランプの中の水銀が蒸発して明るくなるまで、遅いもので4分から5分かかるそうです。実際に、津嘉山小学校の学力報

告会でも、プロジェクターを使用するために、一旦消してつくまでに時間がかかる。また、入学式でも、学校の案内等をプロジェクターで行っていらしたので、それが終わった後に電気をつけると時間がかかって、その後の記念撮影の待ち時間が結構あったので、そういった面でも、今後LED化をお願いしたいと思っていますので、ご検討をよろしくお願いします。

最後の質問です。大問3. 那覇空港の愛称を飛び安里空港に。(1) 飛び安里を本町から世界に発信できないか。(2) 飛び安里研究会より那覇空港の愛称を「飛び安里空港」にと町長へ要請があったがどのように考えるか。よろしくお願いします。

○議長 知念富信君 副町長。

○副町長 国吉真章君 質問事項3点目の那覇空港の愛称を飛び安里空港に。(1)と(2)については関連しますので一括してお答えします。ご質問のとおり、飛び安里研究会から那覇空港の愛称を「飛び安里空港」への主旨で要請を受けております。このような要請を行う際は、町の総意として要請することが重要だと考えております。今定例会において、議会に同様の請願もなされていることから、その結果も踏まえて判断をしてみたいと思います。以上です。

○議長 知念富信君 6番 大城勇太議員。

○6番 大城勇太君 ありがとうございます。議会が否決であれば、否決になりそうな、そういった答弁になっているかと思いますが、実際、今回の要請でさまざまな方々からお話を聞いた中で、またさまざまな方面からお話をいただきました。やはりライト兄弟よりも早く飛んだということになりますので、そういったお話とか、東京の公文書館より当時の記録も出てきました。何よりも、愛知県の小牧空港にあるあいち航空ミュージアムに、飛行機の原点は飛び安里と明記がありますので、それも踏まえて、今後検討していきたいと思っております。どうか、この一般質問、そして委員会の前に、この空港ミュージアムに行って、いきさつをお聞きしに行こうかと思っていたのですが、コロナの影響で閉館になっていましたので、これが解かれたら行って、いきさつについてお聞きしに行きながら、今回の要請は継続審議になるかと思いますが、これをいいと捉えて、この3カ月間でまたいろいろなことを調べて、どういった場面で那覇空港の愛称としてできるのかを考えたいと思っております。那覇空港の愛称としてできるかできないかというのはわかりませんが、この南風原町から出た偉業ですので、せつかくですから、沖縄県のみならず、本土の方々も取り込んで、関心が持てるいい機会になったらと思っております。

そして最後に、町長に改めて、那覇空港の愛称を飛び安里空港にできないかの要請についてのご答弁をよろしくお願いします。

○議長 知念富信君 町長。

○町長 赤嶺正之君 お答えいたします。この飛び安里の件に関しましては、私事と申しますか、私も若いときにはかかわったことがございまして、要請があったときには本当にうれしかったということが印象として残っております。答弁いたしましたけれども、町として、町への要請ということでございますので、とりあえず町としてどうするかということで、三役会議、あるいはまた庁議で話し合いをしまして、私としましては、先ほど答弁しましたとおり、非常にうれしいことだと。他府県に事例もあることですので、何とか実現できないかと思ったところでございます。幸いにも、本定例会にも要請が出されておりますので、でき得れば、町と議会と二人三脚で要請ができれば、またいいかなと思っておりますので、是非勇太議員のお力添えもお願いしたいと思っております。以上です。

○議長 知念富信君 6番 大城勇太議員。

○6番 大城勇太君 私だけの力では多分どうしようもないので、執行部の皆様、そして議員の力もかりて、是非実現に向けて頑張っていきたいと思っております。これで一般質問は終わりますが、まず何よりも先に、本町におけるコロナ対策をしていただいて、そしてその一方で、頭の片隅に私の一般質問も覚えていただけたらと思いますので、よろしくお願いします。これで一般質問を終わります。ありがとうございました。